

36回目を迎える「ボランティアのつどい」が9月25日回にあいとぴあセンターで開かれる。このイベントを主催する狛江市ボランティア連絡協議会会長の大矢美枝子さん(62)に話を聞いた。

「ボランティア連絡協議会は、市内でさまざまなボランティア活動に取り組んでいる人たちが、それぞれの活動を理解し連携を深めながら活動の充実を図り、地域の発展に寄与することを目的に昭和59年に発足しました。現在、17団体と個人会員1人が会員になっています」 「毎年秋に催す『ボランティアのつどい』が主な活動で、このほか、『語り場』と呼ぶボランティアをする人と受ける人の交流の場や勉強会を不定期で開いています。私は平成21年度に会長になりました。『つどい』の企画・運営・進行など全体のまとめ役が大きな仕事です」 「『つどい』は、ボランティア同士の交流だけでなく、多くの市民にボランティアや市民活動について知ってもらい、活動を始めきっかけにしたいという願いから開いています。昨年まで狛江市社会福祉協議会のこまえボランティア・センターとの共催で、実行委員会方式で運営していました。しかし、ボランティア・

ボランティアで知り合いが増え、フィールドが広がるのが楽しいです

センターが『こまえくぼ1234(狛江市市民活動支援センター)』に組織変更されることになったため、今回から『つどい』は連絡協議会が単独で主催することになりました。昨年までボラ



狛江市ボランティア連絡協議会 会長 大矢美枝子さん

「独身で幼稚園教諭だった頃、耳の不自由な子がいて、手話ができなかったのでコミュニケーションが取れず苦労しました。それが気になっていて、10数年前に狛江の手話サークルに入りました。耳の不自由な人と会話ができる楽しさを知り、それをきっかけに地域の活動に参加するようになりました。ボランティアは自分でできることや興味があることから始めるのが良いと思います。活動を通して、知り合いが増え、フィールドが広がるのがすごく楽しいです」

大矢美枝子さんの横顔=中野区生まれ。中学3年生の時に狛江市へ転居し、短期大学卒業後に幼稚園教諭となる。25歳で結婚し市外へ転居、夫の転勤に伴い茨城県、北海道などに住み、平成7年に狛江市に戻って幼稚園教諭に復職。手話を習ってボランティア活動を始め。現在は保育士として働いたわら、民生委員などを務める。娘2人は独立し夫と2人暮らし。趣味は映画鑑賞とフラダンス、水泳、ヨガなどのスポーツ。

老舗めぐり

◆50◆

和泉多摩川駅前商店街にあるセイシン(東和泉3-12-6)は時計、メガネ、宝飾品を扱う専門店、こしで創業50周年を迎える。

同店は、現社長の金田清孝さん(42)の父・金田清さん(昭和14年~平成27年)と叔父の信男さん(75)が、ふたりの名前から1文字ずつを取って「清信堂時計店」として昭和41年2月に和泉多摩川駅前北側で開業した。

金田兄弟は長野県飯田市の自転車店に生まれたが、父が早くに亡くなったため、母の政子さん(大正3年~平成11年)が家業を続けた。清さんは中学校卒業後、都内の衣料品店に就職したが、衣料品販売に将来性を感じられず転職、傘職人などさまざまな職業を経験した。信男さんは中学校卒業後、都内の時計店に就職。その後横浜市の時計店に移り、警察署や国鉄(現・JR)で時計を売り、外販のコツを



昭和45年の清信堂時計店

地域還元モットーに良品を提供

セイシン

覚えた。この頃、清さんは弟と相談し、武蔵野市の時計店に転職、独立に向け資金をふたりで貯めた。最初は都心で開業をめざしたが、手持ち資金では難しく、不動産屋から和泉多摩川駅の店舗を紹介された。人口が増えており、交通の便も良いことからその店に決め、故郷から母を呼んで店を開いた。

開店当初は時計の販売が中心だったが、高額な腕時計は店ではあまり売れず、警察署などに出向き月賦販売をして経営を軌道に乗せた。清さんは44年に山梨県出身の静代さん(70)と結婚、46年に現在の場所に木造2階建ての住宅付き店舗付を購入して移転、有限会社にした。信男さんも静代さんの妹と結婚、元和泉の自宅から店に通い、2家族で店を切り盛りし、祖母がふたりの息子の子ども5人の世話をした。

和泉多摩川の商店街はこの頃次々と商店ができ、100を超す店が並ぶほどに発展した。55年に店舗を地下1階地上3階のビルに建て替え、現在の店名に改称、宝飾品に力点を移した。定期的に商品の展示会を開き、地域の女性

を中心に顧客を開拓した。平成初めに信男さんは退職したが、清さんはそのまま仕事を続けることにし、3年に店舗の大改装を行った。

清孝さんは家業を継ぐため、大学卒業後は都内の宝石卸メーカーや大手メガネ店、本厚木の質店で働き、商品知識や経営のノウハウを学んだ。15年に清さんが狛江駅南口に支店を出すことを決めたため、質屋を退職して家業に就き、16年に狛江店の店長に就任した。

同店では、宝飾品やバック、靴、洋服、ウィッグなどの展示会を毎月店で開くほか、年2回、店外で展示会を開いている。また、店舗に顧客がくつろげるコーナーを設けて、サロンのような雰囲気を出すなど、おしゃれ好きな女性客の心をつかんでいる。

清孝さんは「地域還元をモットーに、対面で話をしながら良い品物を提供し続けてきたことが50年間続けられてきたひけつです」と話している。

セイシン=本店 ☎3480-8463、狛江店-東和泉1-30-2 ☎3480-8972 営業時間=いずれも午前10時~午後7時30分 水曜休み



金田清孝社長(前列右)、静代さん(同左)とスタッフ

昭和41年に兄弟で創業/定期的な展示会で地域の客の心つかむ

商店街

猪方駒井商店会が秋1番大売り出し

猪方駒井商店会が1日困から10日困まで「秋1番大売り出し」を実施する。23の加盟店で利用金額100円ごとに補助券を進呈、補助券10枚で1回くじ引きができる。11日困午前10時から午後4時まで津端商店横の駐車場で抽選を行い、特賞3,000円分(10本)などの買い物券(30日困まで有効)が当たる。会場では加盟店によるフリーマーケットなども催す(雨天の時フリーマーケットは中止)。問い合わせは ☎3480-8802 五味食料品店。

伊豆美神社

中和泉3-21-8

例大祭=18日困午前9時30分~午後9時。式典、国指定重要無形民俗文化財「江戸の里神楽(山本頼信社中による)」奉納。午前11時30分宮出、みこし2基、大太鼓、はやし連、山車の巡行。午後7時宮入り。午後6時から芸能奉納(バルーンパフォーマンス、マジック)、夜店※祭の参加は徒歩で ☎3489-8105 伊豆美神社

子之権現三嶋神社

西野川1-17-8

宵宮=24日困午後4時から太鼓の巡行。

例大祭=25日困午前10時式典。正午ごろみこしの宮出、太鼓、小足立地区の応援によるはやし連の巡行。午後6時30分頃宮入り ☎5438-4041 千金楽

岩戸八幡神社

岩戸南2-8-2

宵宮祭=10月1日困午後6時から素人演芸(氏子有志のカラオケ、舞踊ほか)。例大祭=2日困午前10時から式典、午前11時からおとな・子どもみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行。午後6時30分から芸能奉納(バルーンパフォーマンス、マイムランド・ピエロのおくりもの、マジック、歌謡曲)、夜店。 ☎090-4849-6859 小川



会員募集

外遊び 毎 困・ 困・ 困・ 困 9:30~13:30 (出入り自由) 和泉多摩川河川敷(天候により変更あり)。見学無料。イベント等はブログ確認 ☎飲み物、着替え、昼食(任意) ☎0歳~就学前の親子 ☎500円~ ☎事前困あおぞら自主保育 狛江おひさまの会 Maikamamagood@gmail.com 佐藤

http://blog.goo.ne.jp/komaeohisama

フォークダンス 毎 困第2・4困9:30~11:30 中央公民館。プロの指導で練習 ☎健康な人 ☎1,500円 ☎1,000円 ☎FD フラミンゴ ☎3480-8853 諸藤

カラオケ 毎 第2・4困19:00~21:00 ノタリーノホール(狛江駅側)。ポピュラーから演歌まで。作曲家の指導あり。見学可。初心者歓迎 ☎10人 ☎3,500

円 ☎2,000円 ☎事前困 狛江カラオケクラブ ☎ FAX3489-5246 杉浦

コーラス 毎 第1・3困13:00~14:30 南部地域センター。無理のない発声で歌う。入会随時受付 ☎筆記用具 ☎1,000円(別途楽譜代・場所代300円) ☎ピオーネの会 ☎ FAX3430-6968 大塚

クラシックバレエ 毎 困13:45~15:15(女性)、15:30~16:30(未就学児)、16:30~17:45(小学生(中級))、18:00~19:30(中学生) 中央公民館。バレエの基礎から丁寧に指導。体験、見学可 ☎レオタード、バレエシューズ、タイツ ☎5,000円 ☎4,000円 ☎事前困 狛江クラシックバレエ

☎080-4087-2090 ラマザ

ストレッチ 毎 田10:00~12:00 中央公民館。健康、美容のための運動。親切、ていねいな指導。見学自由 ☎2,500円 ☎1,000円 ☎ハ一モニー ☎3430-4770 渡辺

川柳 毎 第3困9:30~12:00 中央公民館。川柳作家・高鶴礼子さんの指導 ☎鉛筆2B、消しゴム ☎2,000円、その他 ☎1,500円 ☎川柳 狛の会 ☎ FAX3489-1287 田中

書道 毎 第2・4困13:30~15:30 中央公民館。基本から楷行草書、かな、万葉がな、色紙、短冊、ペン習字 ☎10人 ☎4,000円 ☎500